

ゼロカーボン通信 Vol.04

2021.7

カーボンニュートラル ってなに？

カーボンニュートラルとは、CO₂の排出量と吸収量とがプラスマイナスゼロの状態になることを指します。この言葉は大きく分けて2つの意味で使われます。

1つは「植物の成長過程で光合成により吸収されるCO₂」と、その植物を由来とする製品・燃料において「**燃焼するとき**に排出されるCO₂」がプラスマイナスゼロとなる状態のこと。もう1つは、社会活動や生産活動において「**CO₂を抑制後にやむを得ず排出されてしまうCO₂**」を「森林等などによって吸収されるCO₂」によって相殺し、プラスマイナスゼロとすることです。

国が目指すカーボンニュートラルや、本町を含む地方公共団体が目指すゼロカーボンは後者を指します。

再生可能エネルギーとは

CO₂の排出量を抑制する有効的な手段として、「再生可能エネルギーの利用」があります。

再生可能エネルギーとは、太陽光や風力、水力などをエネルギー源として発電する電力のことで、石油などの化石燃料をエネルギー源として発電する電力と違い、発電によるCO₂が発生しません。



様々な再生可能エネルギー



はやま気候非常事態宣言 アクション2

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指します。

